

RPPC メールマガジン 第 805 号

リサイクルポート推進協議会（令和元年 12 月 25 日）

■事務局からのお知らせ

1. 年末年始メルマガ休止のお知らせ

令和 2 年元旦（水）はお休みいたします。

2. 第 1 回 国際資源循環部会

日時：令和 2 年 1 月 27 日（月）10:00～

場所：一般財団法人みなと総合研究財団 3 階 会議室

3. リサイクルポート推進協議会 循環資源技術説明会の開催について（ご案内）

～コンサルタント向け技術説明会～

建設コンサルタントの港湾・空港の計画・設計等に携わること担当者を対象として、「循環資源技術説明会」を開催します。

最近のリサイクル製品技術情報や材料開発の状況・活用事例等をご紹介する機会として開催しますので、多数のご出席を賜りますようお願い申し上げます。

日 時：令和 2 年 1 月 29 日（水）10:00～12:00

場所：一般財団法人みなと総合研究財団 3 階 会議室

※本説明会は、CPD(技術者の継続教育プログラム)の対象とする予定です。

※添付の申込書にご入力いただき、FAX もしくはメールにて事務局までご返信ください。

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 令和 2 年度港湾局関係予算案 3 0 1 2 億円（対前年度比 1・1 9 倍）

国土交通省港湾局関係の令和 2 年度予算案（国費）は、前年度比 1・1 9 倍の 3 0 1 2 億 9 1 0 0 万円（公共約 2 9 7 8 億円・非公共約 34 億円）となった。3 カ年の緊急対策等を実施する「臨時・特別措置額」として約 4 4 4 億円が計上されており、予算額が増加。これを除いた通常分でも約 2 5 6 8 億円を確保し、対前年度比 1・0 1 倍となっている。

予算内訳は港湾整備事業が約 2 8 2 8 億円（通常分約 2 4 1 0 億円、臨時・特別措置額約 4 1 8 億円）、港湾海岸事業が約 1 3 6 億円（約 1 1 0 億円、約 26 億円）、災害復旧事業費が約 12 億円。

港湾整備事業では国際コンテナ戦略港湾関連に約530億円を配分し、重点的に整備を進めるほか、国際バルク戦略港湾、クルーズ船受入、地域の基幹産業の競争力強化、防災・減災等に向けた整備を進めて行く。

一方、非公共の約34億円は、過年度からの継続事業として、コンテナ戦略港湾におけるAIターミナル実現に向けた実証事業、クルーズ受入高度化支援事業、港湾関連データ連携基盤の構築、洋上風力の促進区域指定等に係る取組みに予算配分している。

---

## 2.令和元年度補正予算案、港湾局関係国費523億円

政府が12月13日に閣議決定した令和元年度補正予算案のうち、国土交通省港湾局関係予算案は国費523億円（事業費628億円）。内訳は港湾整備事業が国費296億円（328億円）、海岸事業36億円（同）、災害復旧事業189億円（261億円）、非公共事業2億円（同）、となっている。

今年度の補正予算は高波等による護岸倒壊防止対策や老朽化対策のほか、クルーズ船の受入環境整備、生産性向上を支えるインフラ整備、農水産業等の成長産業化・輸出産業化に向けた整備、等を進める。このほかゼロ国債は国費134億円（137億円）、また復興庁計上となる東日本大震災復興特別会計の港湾整備事業は国費211億円（同）、となっている。港湾整備事業では、「災害からの復旧・復興と安全・安心の確保」に向け、▽高潮等による護岸等の倒壊防止対策として、国費63億円を計上。台風15号で高波による護岸等の損傷・倒壊が起り、大規模な親水被害が発生したことから、補正予算を投じて岸壁、外郭施設、臨港道路等の主要な施設の耐波性能等の照査を行う。

---

## 3.災害廃棄物の広域処理、リサイクルポートで支援

国土交通省港湾局は今秋日本を襲った15号、19号台風により各地で大量の自然災害廃棄物が発生し、その処理等が課題になっていることに対応するため、リサイクルポートを通じた被災地支援を働きかけて支援している。

港湾局海洋・環境課長、海岸・防災課長名で10月末、災害廃棄物（木くず等）の処理に関するリサイクルポートの活用についてリサイクルポート推進協議会に協力要請を発出したほか、各地方整備局等の港湾空港部、並びに全国市長会を通じて港湾管理者や自治体にもリサイクルポート制度の周知を要請している。

大規模自然災害では大量の廃棄物が発生するため、その処理が大きな課題になる。今年の19号台風においても、現状では発生した廃棄物を地域に一時仮置きしているのが実情で、今後は二次仮置場には運んで分別し、木片等可燃物はセメント工場の燃料としてリサイク

ルするなどが考えられている。

熊本地震の際には廃棄物を熊本港に運び、分別処理。可燃物についてはリサイクルポートの制度を利用して姫川港に海上輸送し、同港背後のセメント工場の燃料に有効活用した。

【港湾空港タイムス12月23日号から編集】

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：丸岡 裕人 日本製鉄（株）

友歳 巖 五洋建設（株）

安藤 彰 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：押田、清水、安田

URL: <http://www.rppc.jp/> E-mail: [rppc\\_jimukyoku@wave.or.jp](mailto:rppc_jimukyoku@wave.or.jp)

////////////////////////////////////

■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡ください。

開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡ください。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡ください。